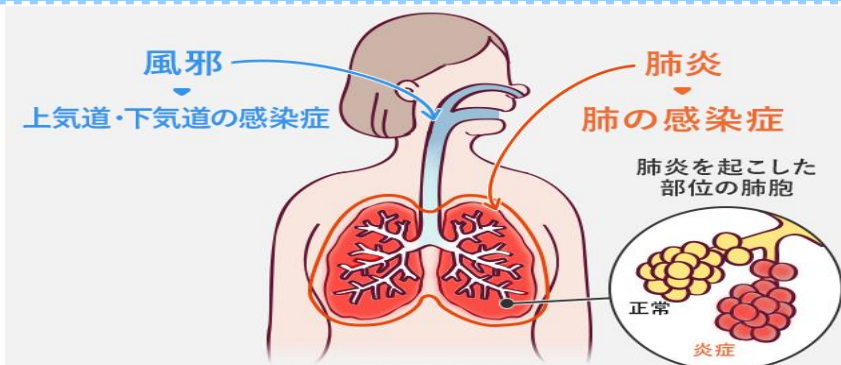


## 2月のテーマ ; 肺炎を予防しましょう!

### \* 肺炎と風邪との違い \*

肺炎は風邪と違って命に関わります。肺炎は、発熱、咳、痰など、風邪と症状がよく似ているだけでなく、風邪やインフルエンザ感染の直後に起こることが多いので、風邪が長引いていると勘違いし、発見が遅れてしまうことがあります。大きな違いは感染が起こる部位です。肺炎は肺に炎症が起きるに対し、風邪は上気道や下気道に炎症を起こします。肺は「呼吸」を行っているので、肺に炎症が起こると、息苦しさを感じたり、呼吸が速くなったり、ときに呼吸困難に至ることもあります。肺炎は入院が必要なほど重症化する場合があるので、風邪とは区別し、早く発見しましょう。



### \* 高齢者は肺炎にご用心 \*

肺炎はわが国の死亡原因の第5位です。肺炎で亡くなる人のほとんど(98%)が65歳以上です。体力、免疫力が低下した高齢者は、持病がなくても風邪やインフルエンザなどちょっとしたきっかけで肺炎を起こしやすくなり、肺炎になると介護が必要になったり、亡くなったりすることがあります。高齢者の肺炎は、成人の肺炎に比べて症状が非典型的で、熱が出にくい、咳や痰が見られないなどの特徴があります。なんとなく元気がない、食欲がないなど、普段とは違う症状が長引く場合には、早めに医療機関を受診しましょう。

### ☆ 肺炎の予防接種を受けましょう!

日常的にかかる成人の肺炎のうち、3~4人に1人は肺炎球菌が原因です。肺炎を予防するには、予防接種を受けることが重要です。

65歳以上の方を対象とした、肺炎球菌ワクチンの予防接種の定期接種制度(1度のみ公費負担)があります。乳幼児(生後2ヶ月から)のワクチンもあります。



### ☆ 肺炎予防のためにできること

肺炎を予防するには、細菌やウイルスが体に入り込まないようにうがい・手洗い・マスクの着用をすることが大切です。



肺炎球菌ワクチン(乳幼児と65歳以上の方)の予防接種は当院で受けられます。詳しくは当院スタッフにご相談ください。